

教科名 (科目名)	地理歴史 日本史特論	履修学年	3 年	学科	普通・フロンティア 科
単位数 (週当たりの授業時数)				文系3・理系2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	単元テスト・定期考査	単元テスト・定期考査	長期休業明け課題考査・実力考査・ブチテスト・小テスト、提出物

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

教科書：『詳説日本史』（山川出版社）
 副教材：準拠プリント（教科担当作成）
 『新詳日本史』（浜島書店）
 『ステップアップ日本史』（啓隆社）
 ※『実戦攻略大学入学共通テスト問題集』（実教出版）
 ※『共通テスト実戦模試』（Z会）
 上記※…SCコースを除く。

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

(1) 予習) 事前に教科書を読み、準拠プリントを理める。(2) 授業中) 教科担当は教科書内容を、準拠プリントに沿って説明する。生徒は理解する(※文化物は、図説の写真で確認)。(3) 復習) 教科書を読み(※史・資料、欄外まで)、準拠プリントで覚える。(教科書：理解、準拠プリント：定着…併用。※文化物は、図説の写真で確認。) (4) 各テスト対策) 上記(3)がメイン。それを通して理解・定着を完了した上で、小テスト・問題集にて力試し。事後は解説を見て、教科書・準拠プリント・図説に立ち返りながらやり直し。

◆いつ、何をA64:AW93学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度		
1 学 期	4月	第10章 幕藩体制の動揺	春季課題考査（実力・単元）	春季課題考査（実力・単元）	提出物 春季課題考査（実力・単元）		
	5月	第11章 近世から近代へ			1学期単元テスト	1学期単元テスト	小テスト 提出物
	6月		1学期期末考査（単元）	1学期期末考査（単元）	小テスト 提出物		
	7月	第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の成立（1）			小テスト		
2 学 期	8月	第13章 近代国家の成立（2・3） 第14章 近代の産業と生活	夏季課題考査（実力・単元）	夏季課題考査（実力・単元）	提出物 夏季課題考査（実力・単元）		
	9月				2学期単元テスト	2学期単元テスト	小テスト 提出物
	10月	第15章 恐慌と第二次世界大戦	学年末考査（単元）	学年末考査（単元）			小テスト 提出物
	11月						第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代
	12月	第18章 激動する世界と日本 大学入学共通テスト演習	提出物 小テスト				
3 学 期	1月	大学入学共通テスト演習 大学個別学力試験対策					
	2月						
	3月						